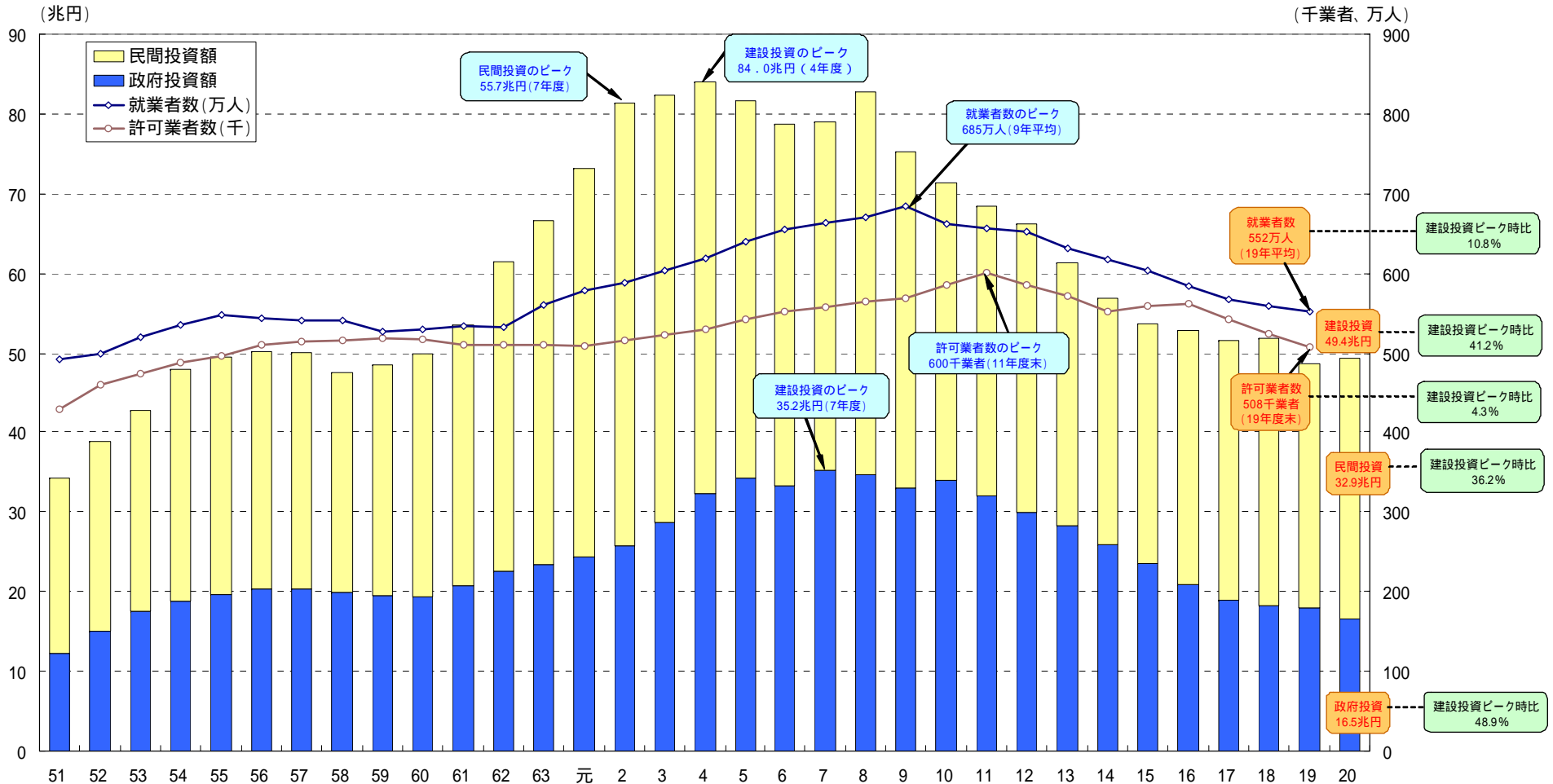


建設業界の最近の状況について (公共投資等の推移)

平成20年10月9日
国土交通省 中国地方整備局

建設投資(名目値)、許可業者数及び就業者数の推移

建設投資額:平成20年度投資額(見通し)は平成19年度に比べ増加し49.3兆円でピーク時(4年度)の約6割
建設業者数:平成19年度の建設業者数は50.8万業者で、4年度53.1万業者に比べ減少傾向
建設業就業者数:平成19年度の建設就業者数は552万人で、4年度の619万人と比べ約10%減少



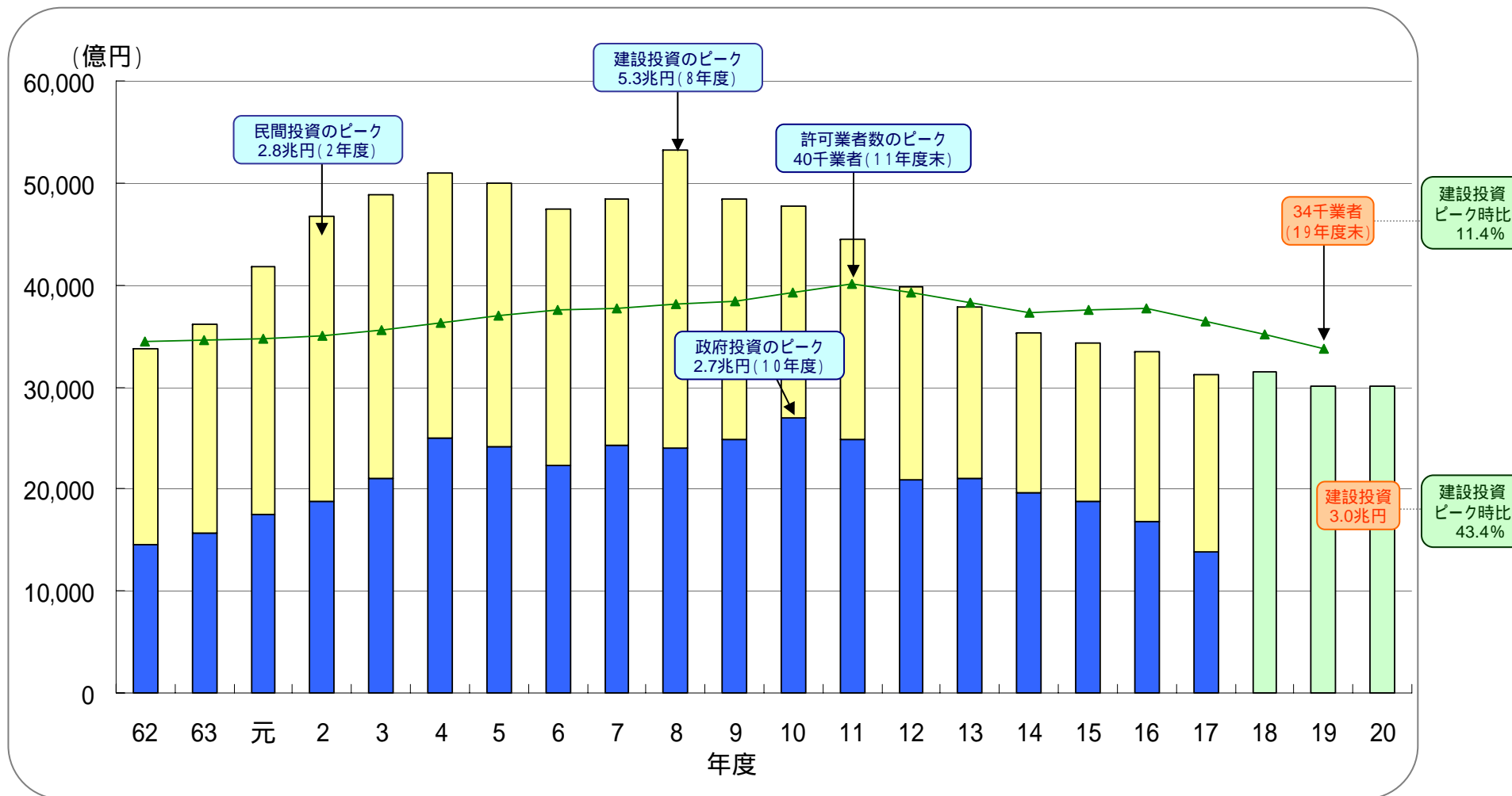
出所：国土交通省「建設投資見通し」・「許可業者数調べ」、総務省「労働力調査」

注1：投資額については平成17年度までは実績、18・19年度は見込み、20年度は見通し

注2：許可業者は各年末の値

注3：就業者数は年平均

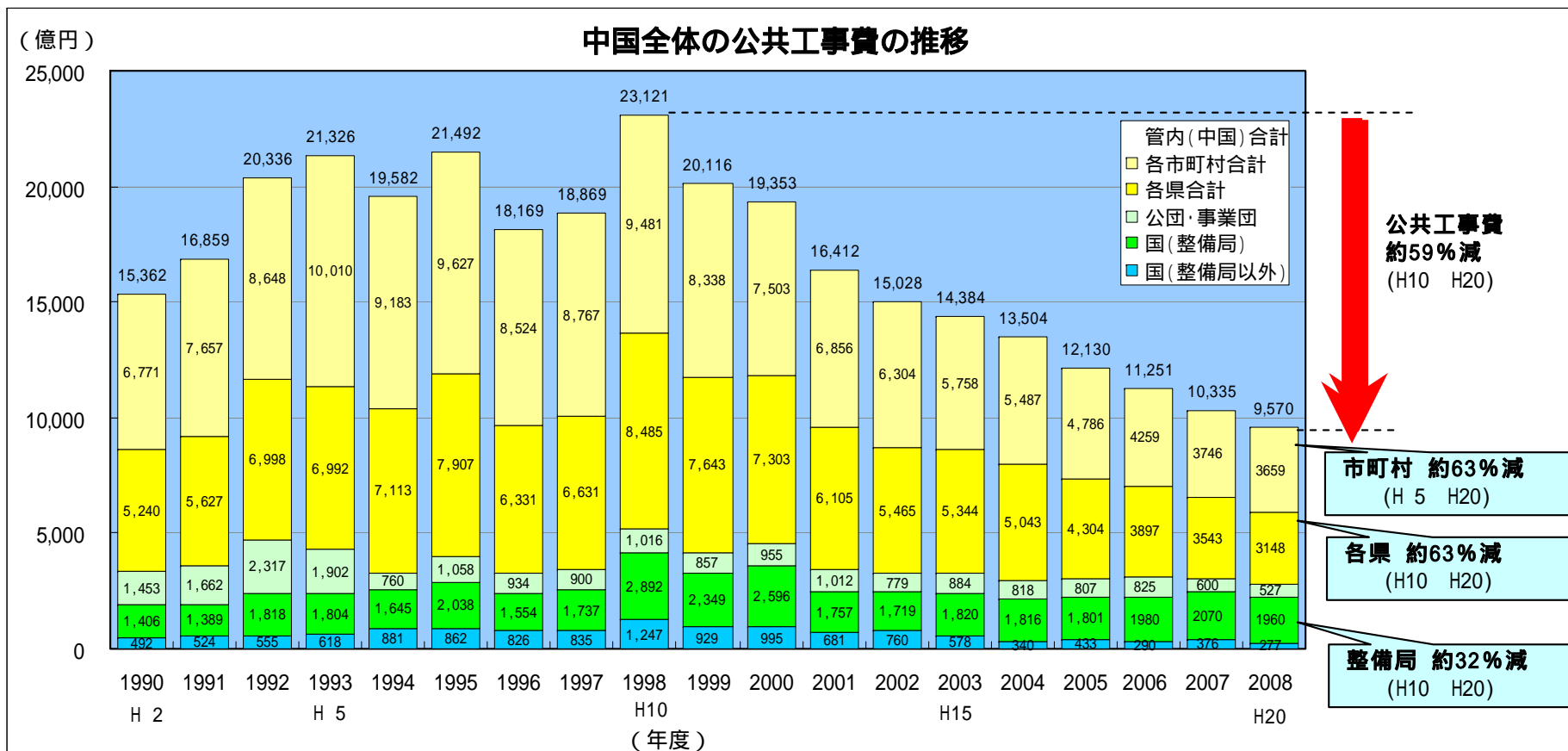
建設投資額：20年度投資額(見通し)はピーク時(8年度)の約56%
 建設業者数：減少傾向(8年度末：約38千業者 19年度末：約34千業者)



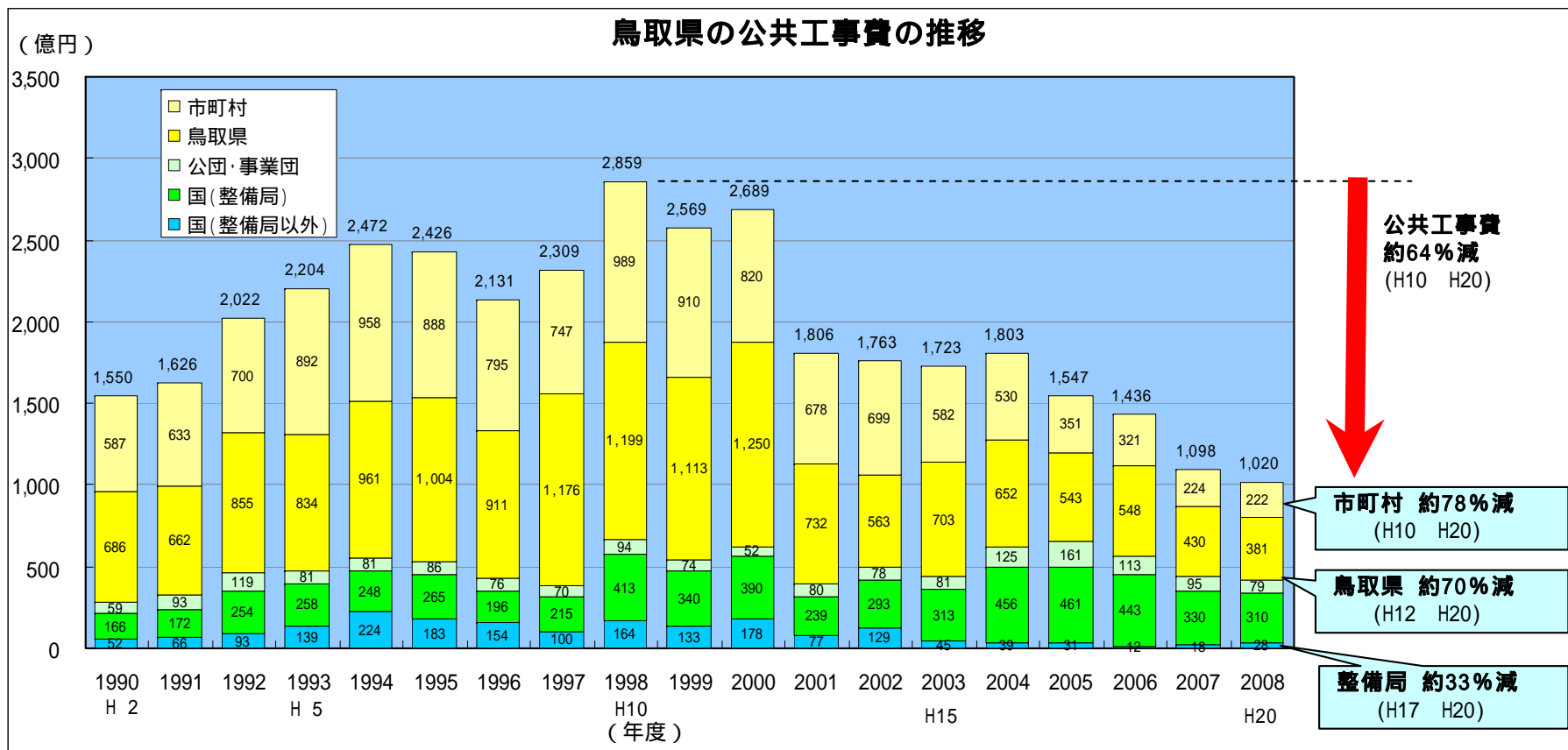
出所：国土交通省「建設投資見通し」、「許可業者数調べ」
 注1 投資額については平成17年度まで実績、18年度・19年度は見込み、20年度は見通し
 注2 許可業者数は各年度末(翌年3月末)の値

< 中国地方 >
 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、
 山口県

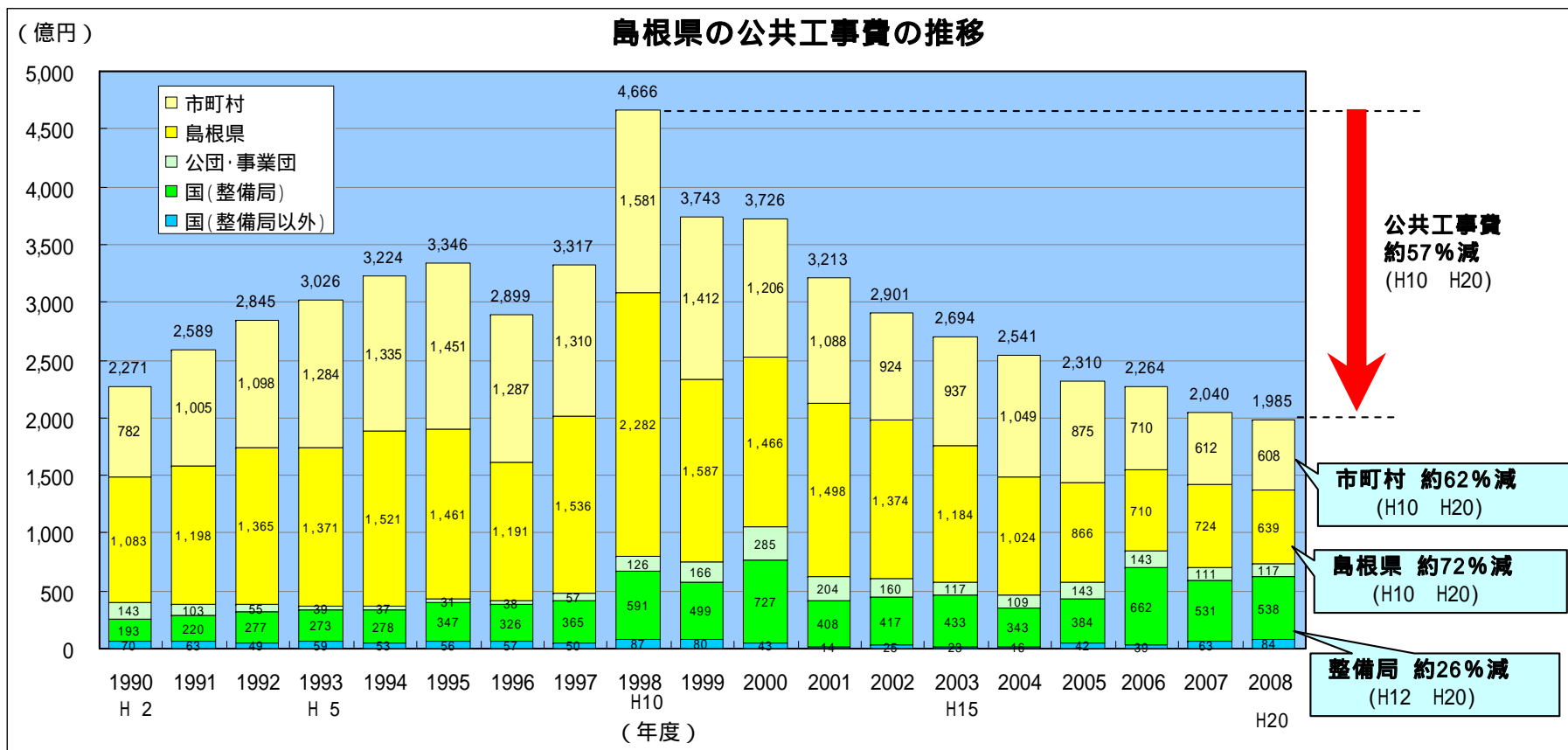
中国地方整備局管内の公共工事費は、平成10年度の23,121億円をピークに減少しており、平成20年度の公共工事費はピーク時の41%、9,570億円となっている。全体的に、各発注機関とも減少している。



鳥取県内の公共工事費は、平成10年度の2,859億円をピークに減少しており、平成20年度の公共工事費はピーク時の36%、1,020億円となっている。特に、県及び市町村の減少率が大い。

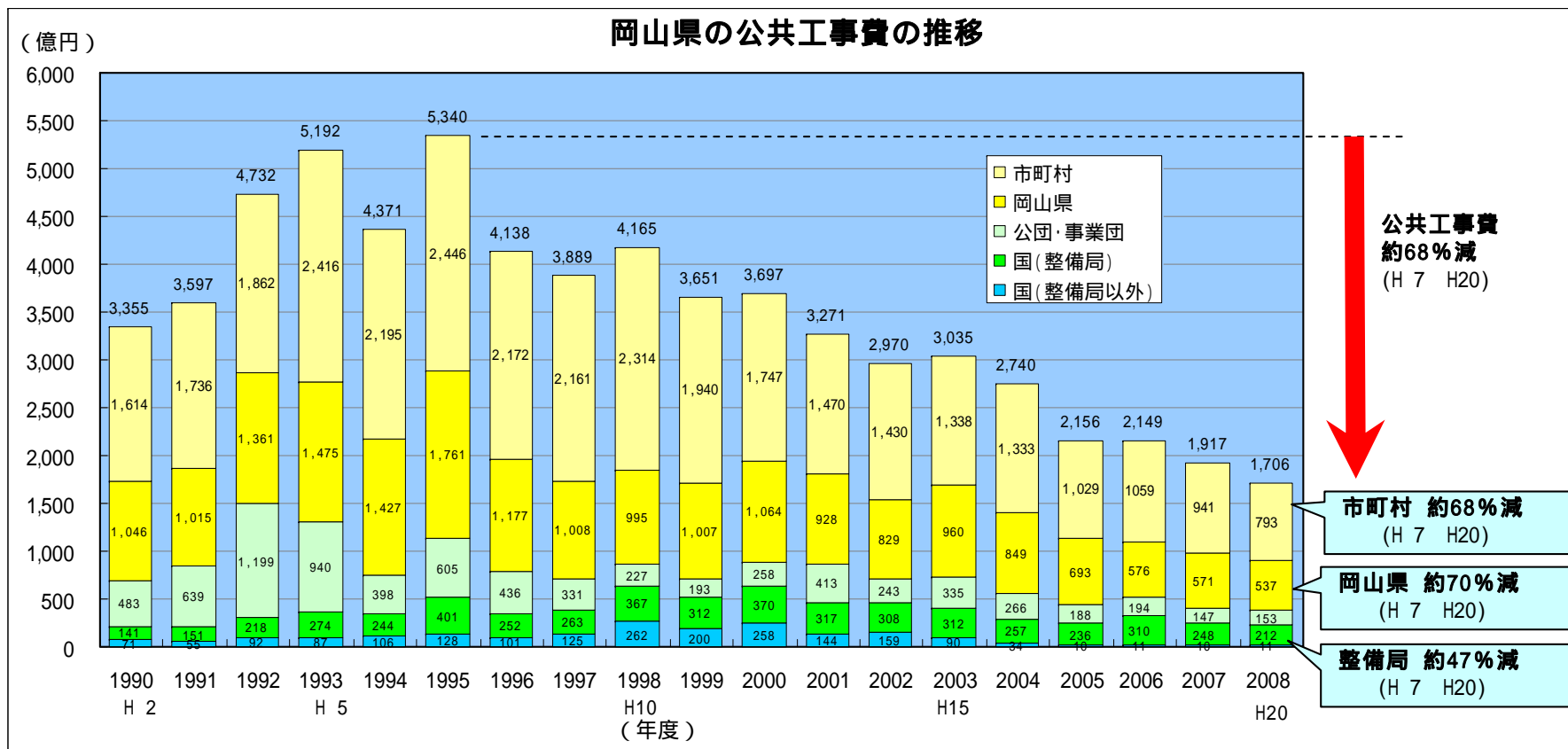


島根県内の公共工事費は、平成10年度の4,666億円をピークに減少しており、平成20年度の公共工事費はピーク時の43%、1,985億円となっている。特に、県及び市町村の減少率大きい。



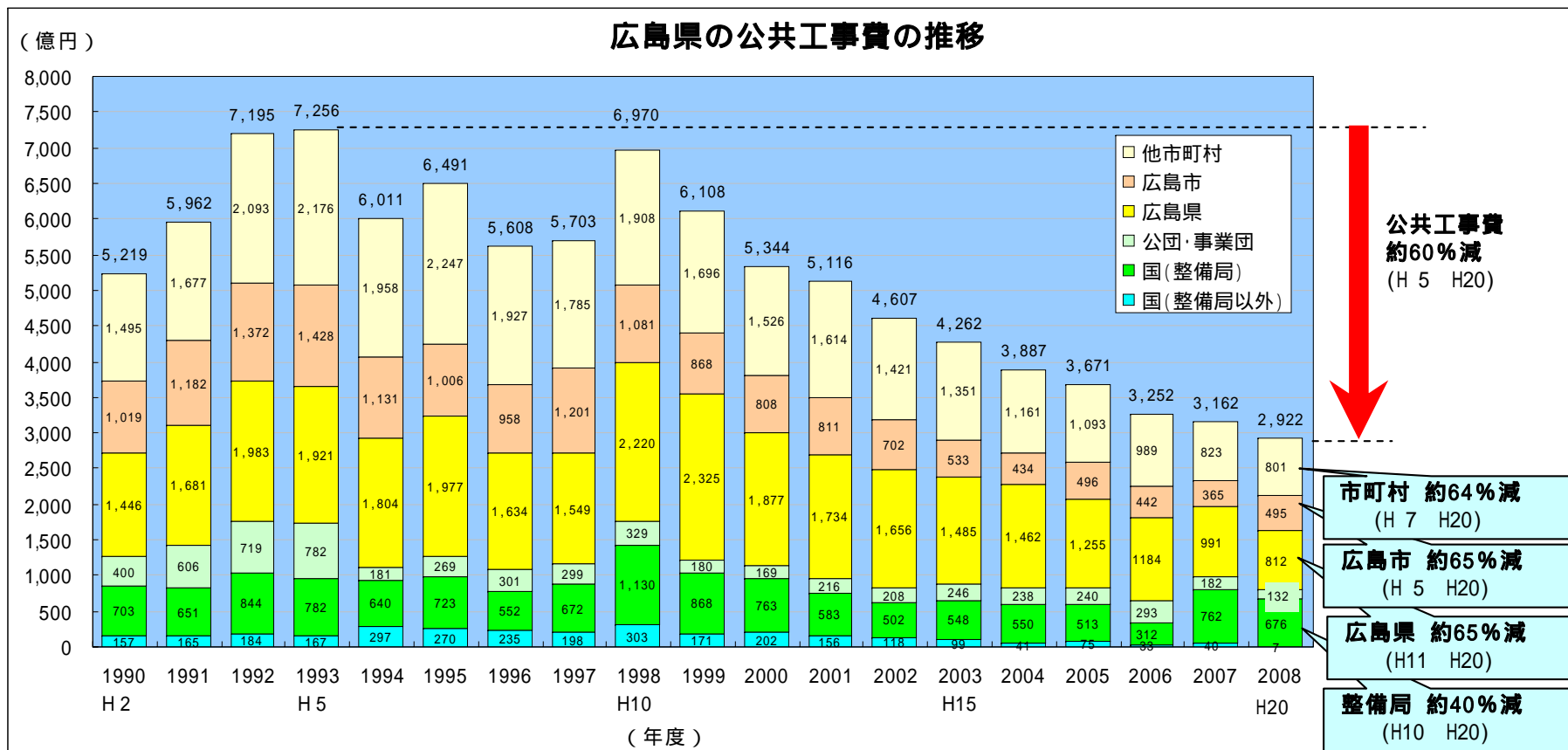
注: 2008の数値については、第1四半期時点

岡山県内の公共工事費は、平成7年度の5,340億円をピークに減少しており、平成20年度の公共工事費はピーク時の32%、1,706億円となっている。特に、県及び市町村の減少率大きい。



注：2008の数値については、第1四半期時点

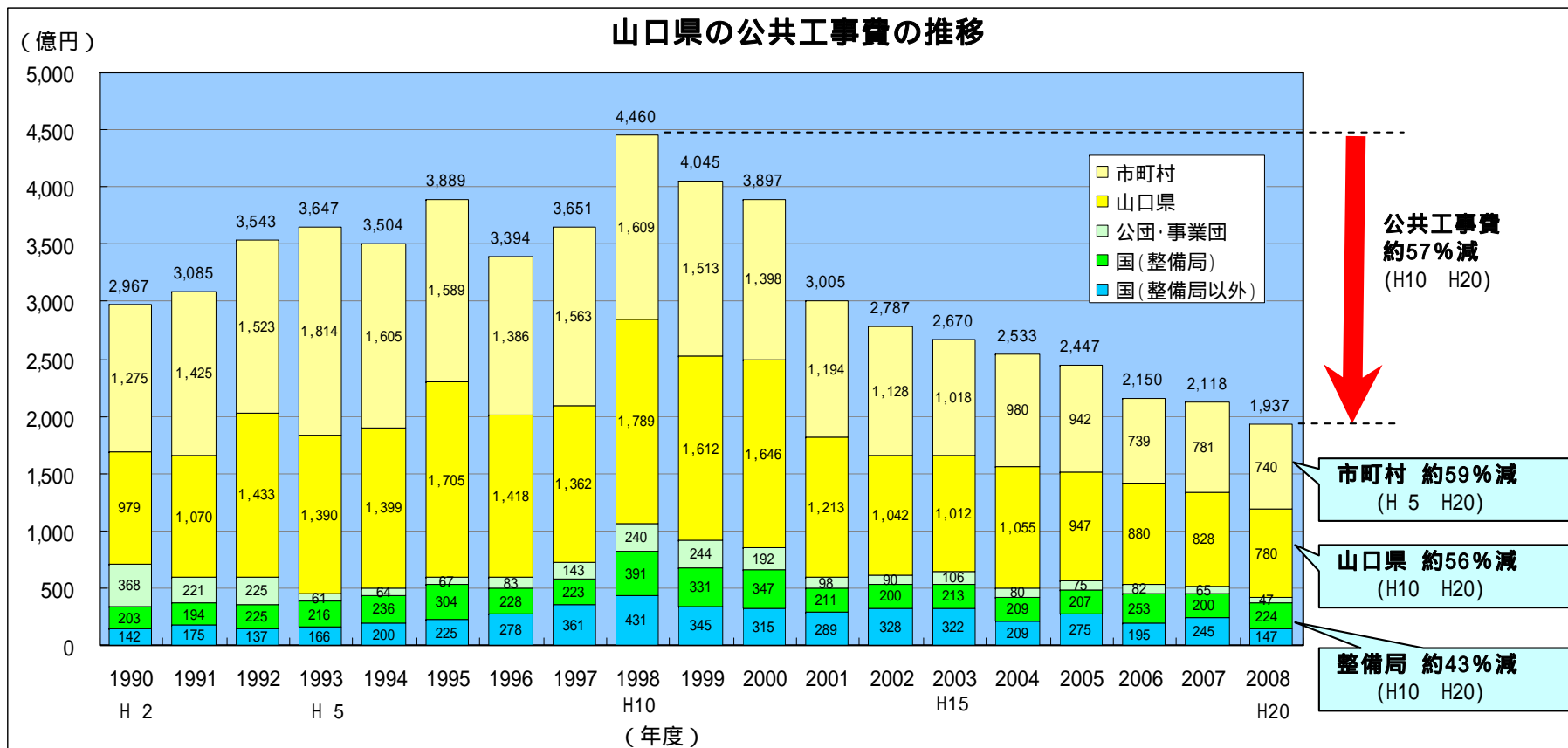
広島県内の公共工事費は、平成5年度の7,256億円をピークに減少しており、平成20年度の公共工事費はピーク時の40%、2,922億円となっている。特に、県、広島市及び市町村の減少率大きい。



注：2008の数値については、第1四半期時点

山口県の公共工事費の推移

山口県内の公共工事費は、平成10年度の4,460億円をピークに減少しており、平成20年度の公共工事費はピーク時の43%、1,937億円となっている。特に、県及び市町村の減少率が大い。



注：2008の数値については、第1四半期時点